



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 富士興産株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5009 URL http://www.fkoi1.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金丸 勇一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 松崎 博文 TEL 03 (6859) 2050  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	26,564	25.1	122	240.0	165	89.8	116	△52.2
2018年3月期第2四半期	21,226	21.7	35	△72.5	87	△51.8	244	112.7

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 141百万円 (△55.9%) 2018年3月期第2四半期 320百万円 (210.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	13.38	—
2018年3月期第2四半期	27.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	17,276	9,863	57.1
2018年3月期	19,134	9,918	51.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 9,863百万円 2018年3月期 9,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	13.5	650	△7.1	750	△3.2	550	△25.0	62.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	8,743,907株	2018年3月期	8,743,907株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	93,321株	2018年3月期	5,378株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	8,721,418株	2018年3月期2Q	8,738,691株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、好調な企業業績を背景として、引き続き改善傾向が続いているものの、国内の自然災害発生や激しさを増す米中貿易摩擦などの影響により、先行きに不透明感を増してまいりました。

石油業界におきましては、前期の秋口より上昇基調に転じた原油価格は、産油国の協調減産継続に中東などの地政学的リスクも重なり、当第2四半期には、前年同期から20ドル/バーレル以上値上がりし、75ドル/バーレル前後で推移しました。国内の石油製品需要は、製品販売価格が原油高の影響により大幅に上昇したこともあり、従前からの漸減傾向に歯止めが掛らず、潤滑油やアスファルトなど一部の油種を除き、前年同期を下回りました。

このような経営環境の下で当社グループは、当期を初年度としてスタートした新中期経営計画『「FK20 次代への進化と挑戦」～さらなる企業価値向上を求めて～』の基本方針と事業別施策に沿って、各事業に取り組んでまいりました。特に、当社グループのコア事業である石油事業では、採算販売に全社を挙げて取り組み、更に、在庫影響による利益の増加もあったことから、損益面では、前年同期に比べ改善はあったものの、物流経費の増加などから、厳しい状況が続きました。

子会社が営むホームエネルギー事業とレンタル事業の業績につきましては、ほぼ順調に推移し、好調であった前年同期を上回る利益を上げることができました。また、環境関連事業として取り組んでいるメガソーラー発電事業につきましては、6月下旬に5ヶ所目の発電所を宮城県に開所し、売電を開始しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は、石油事業における製品販売価格の上昇などの影響により、前年同期比53億円(25.1%)増加の265億円となりました。損益面では、石油事業の在庫影響による利益の増加などから、売上総利益は、前年同期比148百万円(9.1%)増加の1,781百万円となりました。しかしながら、営業利益は、販売費及び一般管理費の増加から、前年同期比86百万円増加の122百万円に止まり、経常利益は、前年同期比78百万円(89.8%)増加の165百万円となりました。法人税等を調整した親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に税効果会計における企業分類の変更があったことなどにより、186百万円の利益を法人税等調整額に計上しているため、127百万円(52.2%)減少し、116百万円となりました。

なお、当社グループの主力事業であります石油事業は、冬季に需要が増加する灯油・A重油が中心であるため業績に季節的変動があり、売上高・利益ともに第1・2四半期が少なく、第3・4四半期が多くなる傾向にあります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①当第2四半期連結会計期間末の財政状態

当第2四半期末の総資産は、前会計年度末に比べ1,858百万円減少の17,276百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,633百万円や現金及び預金の減少1,545百万円などの減少要因が、有形固定資産の増加649百万円などの増加要因を上回ったことによるものであります。

また、負債合計は、前会計年度末に比べ1,803百万円減少の7,413百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,486百万円などによるものであります。

純資産合計は、剰余金の配当による減少139百万円と自己株式の取得による減少56百万円を含め、前会計年度末に比べ54百万円減少の9,863百万円となり、自己資本比率は57.1%となりました。

なお、資産及び負債の減少は、主に季節的変動によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動、投資活動、財務活動の全ての活動において使用した資金が増加した資金を上回り、第2四半期末の資金残高は前会計年度末に比べ1,545百万円減少して2,938百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は37百万円(前年同期は911百万円の増加)となりました。これは仕入債務の減少額1,489百万円や法人税等の支払額209百万円などの資金減少要因が、売上債権の減少額1,633百万円などの資金増加要因と減価償却費259百万円などの非資金項目の合計額を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,053百万円(前年同期は348百万円の使用)となりました。これは有形固定資産の取得による支出912百万円や無形固定資産の取得による支出151百万円などの資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は454百万円(前年同期は140百万円の使用)となりました。これは自己株式取得のための預託金の増加額245百万円や配当金の支払額139百万円、自己株式の取得による支出56百万円などの資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,484	2,938
受取手形及び売掛金	8,327	6,694
商品及び製品	435	480
その他	271	725
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	13,513	10,834
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,265	1,263
その他(純額)	3,339	3,989
有形固定資産合計	4,604	5,253
無形固定資産	163	308
投資その他の資産	852	880
固定資産合計	5,620	6,442
資産合計	19,134	17,276
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,285	4,798
未払法人税等	207	43
預り金	1,416	1,409
その他	733	586
流動負債合計	8,642	6,837
固定負債		
引当金	56	60
退職給付に係る負債	468	475
その他	48	38
固定負債合計	573	575
負債合計	9,216	7,413
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,527	5,527
資本剰余金	48	48
利益剰余金	4,073	4,050
自己株式	△5	△61
株主資本合計	9,644	9,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274	298
その他の包括利益累計額合計	274	298
純資産合計	9,918	9,863
負債純資産合計	19,134	17,276

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	21,226	26,564
売上原価	19,594	24,783
売上総利益	1,632	1,781
販売費及び一般管理費	1,596	1,659
営業利益	35	122
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	14
固定資産賃貸料	46	47
業務受託料	17	26
軽油引取税交付金	14	12
その他	6	2
営業外収益合計	99	104
営業外費用		
支払利息	4	4
固定資産賃貸費用	20	22
業務受託費用	20	28
その他	2	5
営業外費用合計	48	60
経常利益	87	165
特別利益		
固定資産売却益	20	18
特別利益合計	20	18
特別損失		
原状回復費用	—	7
災害による損失	—	4
環境対策引当金繰入額	7	—
減損損失	—	1
その他	3	0
特別損失合計	10	13
税金等調整前四半期純利益	97	170
法人税、住民税及び事業税	40	52
法人税等調整額	△186	1
法人税等合計	△146	53
四半期純利益	244	116
親会社株主に帰属する四半期純利益	244	116

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	244	116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	24
その他の包括利益合計	76	24
四半期包括利益	320	141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	320	141
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	97	170
減価償却費	240	259
減損損失	—	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	2
修繕引当金の増減額 (△は減少)	2	1
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	7	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5	7
固定資産売却損益 (△は益)	△20	△18
売上債権の増減額 (△は増加)	1,605	1,633
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△57	△45
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,001	△1,489
未払金の増減額 (△は減少)	28	△43
その他	55	△319
小計	966	160
利息及び配当金の受取額	14	14
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△63	△209
営業活動によるキャッシュ・フロー	911	△37
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△363	△912
有形固定資産の売却による収入	23	18
無形固定資産の取得による支出	△9	△151
その他	△0	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348	△1,053
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0	△0
割賦債務の返済による支出	△17	△12
自己株式の取得による支出	△0	△56
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	—	△245
配当金の支払額	△122	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140	△454
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	422	△1,545
現金及び現金同等物の期首残高	4,021	4,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,444	2,938

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	ホームエネ ルギー事業	レンタル 事業	環境関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,640	542	792	251	21,226	—	21,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	0	1	0	60	△60	—
計	19,699	542	794	251	21,287	△60	21,226
セグメント利益又は損 失(△)	△122	15	79	62	34	1	35

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	ホームエネ ルギー事業	レンタル 事業	環境関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,801	579	867	316	26,564	—	26,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	0	2	0	77	△77	—
計	24,875	580	869	316	26,642	△77	26,564
セグメント利益又は損 失(△)	△80	28	88	84	121	0	122

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。